大和市立引地台中学校　　令和７年１１月２８日発行

学校だより　１２月号

TEL　０４６－２６７－０５３５
学校ホームページ　http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/c-hiki/index.htm

大和市立引地台中学校　創立５０周年記念式典 11 月 10 日開催

「校長の言葉」　全文

校長　木内正典

本日は大和市立引地台中学校創立５０周年記念式典にご臨席いただき、誠にありがとうございます。
本校が創立５０周年を迎えることができましたのも、ひとえに地域の皆様のご支援、保護者の皆様のご理解、そして歴代の先生方、卒業生の皆様のご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。
さて、振り返えること 53 年前、この地は厚木基地の一部であり「イーストキャンプ」と呼ばれていました。当時、遊休化していたこの地を、市や市議会等が中心となり地元で有効に利用できるよう返還運動を進めた結果、昭和 48（1973） 年５ 月に完全に返還されました。そして、この地に平和の象徴である学校と公園を作る計画が立ち上がり、引地台中学校と引地台公園が誕生しました。この地には地域の方々の並々ならぬ平和への熱い思いがあったことは言うまでもありません。

それから、50 年。創立 30 年から 40 年にかけての 10 年間には「東日本大震災」があり、ここ 10 年では、７年前に元号が平成から令和に代わり、同じころ厚木基地から米空母艦載機全てが山口県の岩国基地に移駐され、ジェット機の爆音は、ほぼなくなりました。基地があることでの不安は今だに残りますが、静かな空に戻ったことで、授業が中断することはなくなりました。
静かで落ち着いた生活が続くと思いきや、５年前には「新型コロナウィルス感染症」が猛威を振るい、緊急事態宣言が発令され、学校が２ケ月休校になったことがありました。このことは、国のＧＩＧＡスクール構想を一気に進ませ、生徒一人ひとりに端末「クロームブック」が貸与されました。教室にもプロジェクターが配備され、黒板の右半分はスクリーン化しています。

本校に目を向けると、３年前、長期にわたる不登校生徒の社会的自立をめざし、教室復帰のみを目的としない「不登校特例校分教室」が柳橋小学校西棟に開室され、現在 20 人程度の生徒が登校し学んでいます。同じ年に校庭に仮設校舎を建てての校舎の「大規模改修」が行われました。廊下の床がクリーム色で明るくなり、廊下と教室を仕切る壁にも木がふんだんに使われ、とても温かみのある内装になりました。次の 50 年の校舎です。大切に使いましょう。

50 年のあゆみの中で、本校の教育目標「目標を持って生きる」「全力を出して生きる」「集団の一員としての自覚を持って生きる」のもと、１３,４８３人の卒業生が巣立っていきました。
その中には、テレビ局の代表取締役社長、芥川賞作家、プロ野球の選手、審判の方がおり、生徒の皆さんには６月の朝会で紹介したところです。このように多くの卒業生が様々な場所、様々な分野で活躍されていることや、幸せな生活を過ごしていることを見聞きするたびに、大変うれしく、そして誇りに思うとともに、50 年という歴史の重みを実感いたします。

そして、今、このスタジアムの席にいる生徒の皆さんが、運動会のスローガンにあった「引き時代」の言葉の通り、次の時代を引き寄せる人たちです。皆さんは素直で意欲的で底知れぬパワーを持っています。次の 50 年を切り開く先駆者となってください。期待しています。
最後になりますが、50 周年の節目に携わった全ての方々のご協力に心から厚く御礼申し上げるとともに引地台中学校の更なる発展を祈念し、あいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

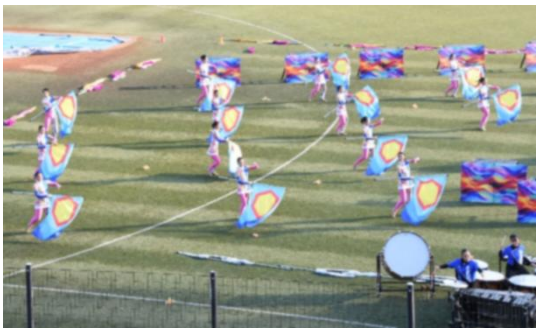
式典の様子

１１月１０日に開催された大和市立引地台中学校
創立５０周年記念式典のスナップショットです。

記念式典を大和スタジアムで開催

来賓と生徒、教職員は一塁側スタンドで参加

↑バックスクリーンの液晶スクリーンを使用したスライドショー上映↑



↑神奈川県立湘南台高等学校吹奏楽部による祝賀記念パフォーマンス（芸術鑑賞）↓

１２月の主な予定

１日(月)～５日(金) 全学年三者面談
１７日(水) 生徒会役員選挙立合演説会
２３日(火) 給食最終、大掃除
２４日(水) ２学期終業式

給食費の引き落としについて

１２月１日(月)、１１日(木)に
１２月分、¥4,795 が引き落とされます。
前日までに口座への入金をお願いします。